

平成 26 年度 第 1 回理事会議事録

- ◇ 期 日 平成 27 年 1 月 25 日（日） 14:00～17:00
- ◇ 場 所 (株)開発工営社会議室
- ◇ 出席数 理事 25 名の内、出席 20 名、欠席 5 名
- ◇ 議 事

1. 平成 26 年度事業報告について

- ・ 各委員長より、事業報告について資料に基づき説明があった。ただし、セーフティアシスタント委員会の委員長が欠席のため説明は次回行うこととした。
- ・ レフリー委員会より、試合が集中する 7 月から 9 月頃のレフリー割り付けが厳しい状況であり、B 級レフリーを各チームで育ててほしいとの要望があった。
- ・ 競技委員会より、野幌グラウンドの芝が養生不足により状態が悪く、北海道選手権大会では決勝戦以外は 1 面しか使えない状況であり、野幌事務所などの関係機関と芝の状態を改善するための交渉・協議を継続して行っていることが報告された。
- ・ 普及育成委員会より、タグラグビーについては盛り上がりを見せているが継続的な取組にはタグラグビー用具の配布が必要との指摘があった。また、中学生のレベルが上がってきていると実感できるとの報告があった。

2. 平成 26 年度会計中間報告

- ・ 会計担当理事から、現時点までの会計状況、平成 26 年度登録者、平成 26 年度傷害状況について報告があった。
- ・ 現時点までの会計状況については、登録人数の減少と、招待試合慶明戦の赤字などで 100 万円程度の赤字になる見通しである。
- ・ 平成 26 年度の個人登録者数については、高校で 3 チーム減少し全体の登録者数として 39 名の減少となった。
- ・ 平成 26 年度の傷害報告では、傷害報告が 65 件あり、準重傷事故が 1 件発生したことと脳震盪が多かったことが報告された。
- ・ 傷害報告状況については、障害報告書の提出期限や北海道協会を通すこと、診断書提出、脳震盪の取扱など傷害見舞金請求手続きのルールを守ることと、各支部でも把握して適切な指導をすることが確認された。

3. 平成 27 年度事業予算

- ・ 会計担当理事より、平成 27 年度会計予算の策定について説明があった。
- ・ 予算申請が提出されていないものが多いため次回の理事会に予算案を提出する。
- ・ 平成 27 年度の北海道協会招待試合について、春の招待試合として 6 月 28 日に月寒ラグビー場で早稲田大学 VS 慶応義塾大学戦における開催要項（案）と収支予算書が提出された。
- ・ チケット前売券を 2,000 枚販売することを目標とすること、チケット料金を小学生以下無料、中学生サイド無料は続けるがメイン席を 2,500 円にすることが提案された。

- ・ 販売目標については、理事をはじめとする協会関係者、競技者、ファンが一体となって月寒ラグビー場を満杯にする取組みを行う。
- ・ メイン席の料金については、他会場などと比べてもまだ上げて良いのではないかとの意見があったが、招待試合の趣旨である北海道での普及育成から考えて提案通りとなった。

4. 平成 27 年度事業計画

- ・ 庶務担当理事より、各委員会の事業計画案についての資料が示され各委員会と確認した。次回理事会で事業計画を確定する予定であるので決定次第、庶務担当理事に報告することが要請された。
- ・ 北海道ラグビー選手権大会は、6月最終週の土・日曜日に第1戦・準決勝、7月第1週日曜日に決勝戦開催しラグビーフェスティバルを決勝戦の前日に行っているが、6月28日が早慶戦となるため日程について調整が行われた。参加チーム、運営スタッフ及びレフリーの動向を踏まえ、今年度の北海道選手権は、第1戦・準決勝を6月20日（土）・21日（日）、決勝戦を2週間後の7月5日（日）とした。これによりラグビーフェスティバルは決勝戦の前日の7月4日（土）の開催とする。
- ・ 来季のトップリーグ 2015-2016 については、RWC2015 イングランド大会が9月18日から10月31日に渡って開催されることから、プレシーズン(9月～10月)とレギュラーシーズン(11月～1月)の2大会の方式にて運営される。北海道開催についてはプレシーズンでの希望を出すことになるが、プレシーズンの開催週が金・土曜日となることから観客動員及び運営スタッフ確保から来季のトップリーグの北海道開催希望について検討された。検討の結果、観客動員に積極的に取り組むこと、運営スタッフを確保する対応をとることが示され、第1希望は9月5日（土）に月寒ラグビー場での開催を出すことが確認された。

5. 理事選出に係る規約改正について

- ・ 本年度の第1回評議員会において、理事長の選任方法について、これまでの選任方法及び規約について改善を要する部分があり、検討する必要があることから、1年をめどに検討委員会で検討し、理事会及び評議委員会に諮ることとなり、この検討結果について報告があった。
- ・ 理事会を構成する理事で、各事業を推進している各委員会の委員長は理事長指名理事となっている。これらの事業推進に必要な委員長に就く理事については理事長が指名するのではなく、理事会が選任するものとする。
- ・ 本協会の規約については、関東協会の指導・協議により制定されたものであり、規約改定には関東協会の承認が必要となることから、本文の改定を行わず細則部分の改定とする。
- ・ これらの報告に対して、細則の表現をもう少し明確にした方が良いとの意見があり、今後支部で検討した内容を加味するなど、もう少し時間をかけて検討することが確認された。

6. RWC2019 について

- ・ RWC2019 担当理事の副理事長より、RWC2019 の開催都市決定までのスケジュールについて説明があった。
- ・ RWC2019 の開催都市選考については、昨年 10 月に札幌市が開催希望申請書を提出し、現在立候補した会場は 15 会場になっている。開催会場は 12 会場としているが、立候補した会場には、東北で 2 会場、九州で 4 会場が含まれており、一つの地域に集まるのは好ましくなく、日本全国に広げて開催するものと考えている。
- ・ 札幌市に対する JR2019 と RWCL 職員などで構成する公式視察は 1 月初旬に終了した。
- ・ 今後は、2 月に JR2019 理事会にて開催都市（案）を承認して、3 月には RWCL 理事会にて開催都市承認、その後契約締結及び正式発表となる運びになっている。

7. 高校ラグビー北海道予選会決勝戦のテレビ放映について

- ・ 高校委員会より、高校ラグビー北海道予選会決勝戦のテレビ放映の復活についての取組みについて報告があった。
- ・ メディアを最大限活用することによりジュニア、スクール、中学生、高校生の競技者を増加させることに繋げる。
- ・ 番組には、ジュニアスクール、女子ラグビー、高校各チーム紹介などを組み込みラグビーを PR する。
- ・ 今後の取組みの一つとして、放送資金集めがあり、スポンサー、協賛企業、高校の負担などを考えているが、日本協会を含む日本全体と北海道全体の対応、理解及び賛同が重要になると考えている。
- ・ 各支部において、放送資金を負担してでもやるかどうか聞いてほしい。

8. ラグビー交換留学生制度の設立について

- ・ 札幌支部理事より、ラグビー交換留学生制度の設立について、資料を基に説明があった。
- ・ 札幌ニュージーランド協会において、ニュージーランドとの国際交流を推進するプロジェクト「(仮称) ラグビー交換留学生制度」を設立し、ニュージーランドと札幌において相互に若い選手を派遣し、語学研修と文化交流を通じて二国間の国際交流に寄与することを目的としている。
- ・ このプロジェクトに対して、北海道ラグビーフットボール協会に後援をしてほしいとの要請があった。

9. 中標津町ラグビー協会 10 周年記念事業について

- ・ 根釧支部理事より、記念事業について協力要請があった。平成 27 年度に中標津町ラグビー協会が 10 周年を迎えることから、記念事業を計画している。詳細は今後詰めることとなるが、レフリー委員会に公認レフリーの派遣について依頼をしています。北海道協会の協力をお願いしたい。

10. 早慶戦オープニングイベントについて

- ・ 早慶戦のオープニングイベントについて、開催を希望する委員会は 2 月中旬まで有料試合事務局まで連絡するように要請があった。

11. 旭川市東光スポーツ公園球技場の使用について

- ・ 旭川市東光スポーツ公園に昨年4月にオープンした球技場の使用について、旭川市の関係者より、各大会での利用の要請があったことが紹介された。
- ・ 球技場は、サッカー、ラグビー兼用グラウンドで人工芝2面からなり、昨年は旭川支部高校大会でも使用した。
- ・ 今後、旭川市より正式な利用要請書を出すことにしており、大学、高校などの試合で利用してほしいとの要請があった。

12. 今後の会議日程について

- ・ 第2回理事会 3月22日（日）14：00～ （株）開発工営社会議室
- ・ 第3回理事会 4月26日（日）11：00～ （株）開発工営社会議室
- ・ 第1回評議員会 4月26日（日）13：30～ アスティ45ビル8階会議室

以上